

コラム

「腰折れ文」 二十三、

渡邊澄子（会員）

ニュースの新鮮さ欠落は編集上已むを得ない。ご寛恕を。新鮮さが欠落しても決して忘却しはならぬ問題は多い。まずは、北方四島の返還に関しての戦争発言だ。バツカじゃないの、国民の代表として税金で暮らす議員の資格なし、即刻辞職と呟いた私の反応は甘かった。彼は沖縄及び北方問題に関する特別委員会の委員なのだ。沖縄戦を体験している沖縄にとって恐怖を喚起させる発言である。時あたかも「復帰」47年（5月15日）を迎えながらいまだに国民主権も自己決定権もないがしろにされている憲法番外地にあることへの怒りの言説が紙面を覆ったが、その直前の5月12日に新事実が判明していた。駐留米兵らへの裁判権を日本が放棄した密約（現在の地位協定）の法相指

揮を定めた54年の法務省内規の項目が60年に削除されていたのだ。密約の運用が定着したからが理由と言うが、削除後の3年間に起きた約7700の事件の9割で裁判権放棄に日本は応じていた事実の判明である。公文書開示請求によって入手した内規や専門家が見つけた文書で分かったことという。「米国への付度から、裁判権を自己規制する構図は、密約から65年経った現在も脈々と続いている」（『琉球新報』）と、県民の意思を無視して暴力的に強行している辺野古問題に直結する理不尽さが追及されている。

菅氏の渡米外遊は珍しい。目的が「辺野古移設、着実に」の確認だったとは！ あなた、日本人なの？ 歴史的に虐め続けられてきていて、県民こぞって

の反対を強行続行確認に税金を使って行くなんて！ 車の税金や送金手数料の値上げに驚いた私は、権力で国民に膨大な借金を抱えさせながらお偉いさんが湯水の如く使う税金の内実が知りたくなって、頻繁に外遊する安倍首相の外遊への税金費消を検べてみた。死の商人性を含めて外遊回数は歴代首相中最多で「60回で120億円超、効果ゼロ、血税がドブに捨てられる」とあり、怒りの書き込みが凄い。12月12日からでは月1回のペースで78か国、144億円超とある。その上、国会議員が税金で雇える秘書は3人だが、同伴する昭恵氏には一人2900万円の秘書が5人ついているとも。人気取りの首相主催「桜を見る会」は年々増加のお気に入り、お友達達の招待客への会場設営・警備費・飲食費代として予算の3倍の5200万円、これも税金とは呆然。菅氏創案のふるさと納税も例えば600万円納税すると超名産品が599万8千円分届き、居住地への税減額で

プラスになる仕組みらしい。権力者と金持ち優遇なのだ。子どもも貧困支援団体への年間事業費100万円未満が半数、30万円未満が3割で活動頓挫はほんの一例。福島・統計・モリ・カケ問題等々未解決問題だらけなのに、安倍政権支持4割？

元号、天皇フィーパーは依然として続いている。政府の政治利用にメディアも加担していて情けない。世界の2大国、米国の中国の関税値上げ競争のどばかりでいろんなものが値上がりしててたまらない。

心愛ちゃんの父親による虐殺の実態が見えてきたが、親が鬼になる構図が理解できない。DVによって情愛がもぬけの殻になった母親も犠牲者なのか。心愛ちゃん、どれほど苦しかったか、涙がとまらない。犠牲者はもう嫌っ！

両親が沖縄出身で米国在住の7歳の可愛い真栄田悠吾君、IQ153で世界の全人口上位2位の国際団体メンサに合格とのこと。凄いわねえ。